

湯沢高校 PTA会長 渡辺 良徳

本校は菅義偉総理大臣の母校ということと昨年一躍注目を浴びました。このことは現役生徒にも多大な影響を与えたことに感じております。総理からは「意志があれば道在り」の色紙を頂きましたが、その言葉の通り夢を抱き志を持って必ず人生の道は拓けていくという教訓は一人一人の胸に響き勇気と自信を与えて頂きました。
「高校時代に身につけた力を基に、人生と向き合い悔いなく歩んでほしい」と激励くださったことはこの上ない励みとなったことでしょう。本校卒業生のみならず秋田県のすべての高校生がこの言葉を胸に飛躍していただけることを心から祈っております。

羽後高校 PTA会長 佐藤 寛之

学び舎で培った日々は不滅です。母校は卒業生にとって、永遠に心の故郷です。切磋琢磨し合った汗と涙の黄金の日々、どの学校の生徒達も決して忘れることはありません。世界がこのような非常事態にあっても、自暴自棄にならず理性を保ち、やるべき事をきちんと行い、教養を積み、自立した魅力ある大人になって下さい。今こそ夢に向かって忍耐する力を育むチャンスです。限らない可能性を秘めた皆さんの前途には限らない可能性の未来が待っています。挫折を恐れずにチャレンジ精神を持ち、人生を楽しんで下さい。

比内支援学校 PTA会長 佐藤 俊明

2020年は新校舎が完成し期待に胸を膨らませてスタートしたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により波乱の幕開けとなりました。生徒たちがとても楽しみにしていた様々な行事は中止や変更を余儀なくされ、とても残念に思っていました。そんな中で、先生方や生徒たちは工夫を凝らしアイデアを出し合っており、今できることを一生懸命実現しました。苦境の中で仲間と一緒にやり遂げた経験はそのまま生徒たちの自信と喜びに繋がります。特に卒業を迎える三年生はこの経験を活かし、今できる事を一生懸命頑張ってください。

比内支援学校たかのす校 PTA会長 佐藤 由紀子

いつものように桜が咲いて、皆さんは最高学年としているいろいろなことを期待し、胸躍る毎日をごさすはずだったと思います。学校が休校になり、行事や地域のイベントも中止となり、この一年は気持ちが沈むこともたくさんあったと思います。その中でも、皆さんは家族・友達・先生方・地域の方々といろんなことをがんばってこられたはず。この経験はきっとこれから社会で生きていくための力になると思います。前向きに未来の自分を思い描いて一日一日を大事にして下さい。皆さんの毎日が笑顔で輝くものでありますように…。

支援学校天王みどり学園 PTA会長 山本 治樹

私は第二次ベビーブームの世代です。受験は高倍率、就職は氷河期と、ツイてない時代だと思っていたものです。この春に卒業する皆さんは、私が経験したよりもずっと厳しい高校生活を過ごしてきたことと思います。それでも皆さんは自分の進むべき道を決め、今まさに、飛び立とうとしています。どんな道であれ、私は応援します。皆さんの若い力を思う存分、次の舞台で発揮してください。そしていつか「あの頃はコロナで大変だった」と笑い飛ばせる日が来るよう、「全集中」で、ご武運をお祈りします。

横手支援学校 PTA会長 高橋 久和

元号が平成から令和に代わり新しい時代の幕開けを感じた昨年、このように日常生活が一変するとは、誰が想像できたでしょうか。これから長い人生を歩んでいく皆さんは時には思いがけないこと、思いもよらないことに出会うことがあるでしょう。どんな事があっても決して卑屈になることなく、その時の自分自身の力もてる力の範囲で前向きな姿勢で頑張ってください。最後に私が恩師からいただいた言葉を贈ります。「踏まれても根強く忍べ道芝の やがて花咲く春に逢うべし」

湯沢翔北高校 PTA会長 佐藤 泰幸

大荒れの世の中に船出をする卒業生に「おめでとう」だけの言葉だけではあまりにも無責任と感じつつ、半世紀近く生きてきた者として皆さんにエールを送りたいと思います。三年間青春を共にした仲間と一緒にこの日を迎えられることは素晴らしい事と心より祝福致します。18年間の中でも一番濃い三年間だったのではないのでしょうかこれからの時代は常にアンテナを立てて世の中を注視して時代の流れにチャンネルを合わせながら突き進んで行ってください、期待しています、最後に君たちに「ありがとう」と言わせてください。

湯沢翔北高校雄勝校 PTA会長 菅 善徳

今年度から湯沢翔北高校の地域校となり、初めての卒業生となる3年生の皆さんへ。今年度は新型コロナウイルスの影響で関係者も規制されて行った入学式や学校祭、各種大会等の中止などで思い描いていた高校生活が送れなかったことでしょうか。しかし、皆さんはそれぞれの個性を発揮しながら自分達らしいアットホームな雰囲気の中で何事にも前向きに参加されていた姿が印象的でした。最後にありますが、秋田県初となる総理大臣の生まれ故郷であるこの雄勝野を、明るく照らす希望の灯となる事を願い今後の活躍を期待します。

比内支援学校かつの校 PTA会長 池田 恵美

高等部3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。運動会や学校祭(鹿りん祭)では、地域の方に見ていただけなかったことは大変残念でしたが、保護者の応援を背に受け、学校全体を盛り上げようと一生懸命頑張る姿が印象的でした。また、7月のコモッセレンジャーショーでは、鹿角のご当地ヒーローとして、子供達の大声援を受ける姿に心から感動しました。3月には学び舎を巣立つ皆さん。これからは社会人として、鹿角や小坂で御活躍されることでしょうか。かつの校で学んだことを誇りに、これからも頑張ってくださいね。

能代支援学校 PTA会長 小澤 澄人

学び舎を巣立つ皆さんへ、この一年は皆さんにとって、全ての人にとっても今までに経験をした事ない「とんでもない一年」だった事と思います。そんな中、皆さんは新たな道を歩き始めます。そして楽な道では無いでしょう。しかし、朝は必ずやってくるし、止まない雨は無い、の言葉のように同じ状況がずっと続く事は無く、変化する環境に対応し、それを乗り越えなければならぬのです。これからの時代を担う皆さんの活躍に期待してエールを送ります。

ゆり支援学校 PTA会長 佐藤 徹

今年度はコロナ禍の影響で、楽しみにしていた学校行事や、色々な事に耐え頑張ってきた部活動の大会も延期や中止となり、今まで頑張ってきた事は何かあったのだろうか、やりきれない気持ちが一杯だと思います。そんな皆さんに次の言葉を贈ります。「諦める理由を探すんじゃなくて、諦めない理由を探せ」「上を向いている限り、絶対にいいことがある。明るい未来が待っているはずだ」これは、jリーグでいまだ現役として活躍している三浦知良選手の話です。新型コロナを理由に夢を此処で諦めず、常に追い求めてください。

編集後記

「3密」は私たちの何気ない日常を大きく変えました。生徒の学校生活やPTA活動も少なくなりました。調査広報委員会では、このような状況下で何が出来るかを話し合いました。その結果、特異な年度を締めくくる会報で二つの特色を出すことにしました。中止になった東北地区高P連秋田大会での講演講師「小松由佳様からのメッセージ」と「卒業生に向けてのPTA会長メッセージ」です。それぞれのメッセージが、秋田の高校生の励みになることを確信しています。新型コロナウイルス感染が一日も早く終息し、これまでの高校生活、PTA活動が戻ることを切に願って編集にあたりました。(令和2年度調査広報委員一同)

小松由佳の最新刊 土人間への 極限状況の人間を描くドキュメント!

日本人女性として初めてK2登頂に成功した著者と、ラクダと共に生きるシリアの青年。砂漠で出会った二人を待ち受けていたのは、「今世紀最悪の人道危機」、シリア内戦だった。徴兵された青年は、同胞に銃は向けられない、と政府軍を脱走する。辿り着いた難民キャンプは安全だったが、生きる意味を見い出せず、戦火のシリアに舞い戻る。人間は何を求めて生きるのか? シリア内戦を内側から見たノンフィクション。

秋田県高P連会報 No.127

発行/秋田県高等学校PTA連合会 事務局/秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷/秋田中央印刷株式会社



合同委員会・PTA担当者連絡協議会(令和2年11月11日生涯学習センター)

「今」思うこと

フォトグラファー 小松 由佳



突如として現れた新型コロナウイルスの世界的な蔓延は、私たちがいかに繋がりがあったひとつの地球に生きているかを知らしめ、さらには当たり前前に思えた日常が、ある日突然に失われていく現実を示した。人が出会い、集い、語らう。こうした直接的な関わりによって人間は文化を生み出してきたし、それは我々の普遍的なあり方だったはずだ。しかし私たちが直面しているのは、こうした根本的な文化形成への危機でもある。コロナ禍のもと、生活スタイルや経済、社会のあり方までが大きく変容している。デジタル化・オンライン化はますます進み、その役割はいっそう増すだろう。さらに戦後の経済発展の上にあった経済大国ニッポンの安定感揺らぎ、既存の価値は不安定となっていこう。そのなかで私たちは、変化の激しい時代を生きるために、自らの目で価値を見極め、自らの手で価値を創造する力が求められるのではないだろうか。地球上の多種多様な生物のうち、なぜ人間がこうも進化と繁栄を遂げられたのか。その要因として、人間が他の生物にはない力、つまり環境への適応力を持ち、発展させてきたからだと聞いたことがある。アフリカのサバンナの樹

上生活者だったヒトが二足歩行を獲得したのも、アフリカを出て新天地へと拡散したのも、好奇心だけでなく、人間には新しい環境へと適応する意思と力があつたからだ。私たちは常に自ら環境を作り変え、適応を図ってきた。今日のコロナウィルスの蔓延は、こうした自ら作り変えてきた環境からのしっぺ返しという声もある。しかし人間はこれまでも、天然痘やインフルエンザウィルスなど、未知の存在との戦いと共存の歴史。に生きてきたし、これからはもそうなのだ。むしろコロナウィルスによって、我々が極めて不安定な命の均衡のうえに生きている存在だと気付かされた。激動の時代にあつて、私たちは先が見えない潮流を泳いでいかなければいけない。羅針盤は「未知」を指しているが、その先に新しい日常がある。 略歴 1982年秋田県生まれ。秋田北高校時代より山に魅せられ、2006年、「世界で最も困難な山」と称される世界第2の高峰K2(8611m/パキスタン)に日本人女性として初めて登頂に成功する。秋田県民栄誉賞、植村直己冒険賞受賞。次第に風土に生きる人間の暮らしに惹かれ、草原や沙漠を旅しながらフォトグラファーを志す。2012年からシリア内戦・難民をテーマに取材や撮影を行っている。シリア難民の自立支援活動も手がけている。昨年9月、「人間の土地へ」(集英社インターナショナル)を上梓。(8ページ参照)

令和2年度の行事から

昨年7月の東北地区高P連「秋田大会」中止をはじめ、県高P連の令和2年度の多くの行事は変則的な対応を余儀なくされました。各学校のPTA会長や会員の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしました。一日も早く新型コロナウイルス感染が終息し、子どもたちの学校生活はもとより、PTA活動が当たり前になることを願うばかりです。ここでは、「地区PTA会長連絡会」「合同委員会・PTA担当者連絡協議会」「教育懇談会」の様子をご報告いたします。

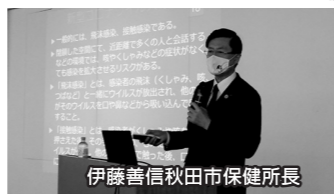
地区PTA会長連絡会

県北地区が10月1日(木)北秋田市交流センター、中央地区が10月6日(火)県生涯学習センター、県南地区が10月14日(水)大仙市大曲交流センターでそれぞれ開催。高P連行事及び会計等の協議や各校での学校行事やPTA活動について情報交換を行いました。この会は、コロナ禍という不測の事態が起こったことにより、各地区のPTA会長から開催要望の声が上がり実施したものです。PTA活動をとらえなおす機会を持てたことは幸いでした。参加いただきましたPTA会長の皆様に感謝申し上げます。



合同委員会・PTA担当連絡協議会

例年、合同委員会は2回(春、秋)行われております。しかし、今年度は11月11日(水)PTA担当者連絡協議会と合同開催の1回だけとなりました。「会計予算(補正)」「高校生総合補償制度」及び各委員会の活動等についての協議の他、秋田市保健所の伊藤善信所長から「新型コロナウイルスについて～その基本的事項と感染予防対策～」と題して講話いただきました。



教育懇談会

12月15日(火)県生涯学習センターで教育懇談会が開かれました。県教育委員会から生涯学習課の瀧澤徳彦課長、青池研悟主任指導主事、高校教育課の藤澤修主幹、保健体育課の高田屋馨副主幹、校長協会から渡部克宏(秋田)、菅原勉(大館鳳鳴)、荒川正明(能代工)、木波恒二(秋田北)の各校長にご参加頂きました。高P連からは役員・理事24名が参加。「新型コロナウイルス関連(学習、進路指導、部活動、PTA活動等)」「いじめ防止」「主権者教育」の3テーマについて意見交換。特に、「新型コロナ関連」では、制約がある中、各学校で最善の教育活動が行われている現状を知りました。先の見通しが立たない状況が続いていますが、高P連及び各学校PTAは、県教委や関係機関と連携し子どもたちの育みを支援していくことを改めて確認し合いました。



令和2年度 秋田県高P連広報紙コンクール

令和2年度「広報紙コンクール」の審査が、令和3年1月22日(金)県生涯学習センターにて行われました。令和2年1月から12月までに発行されたPTA広報紙が対象で23校からの応募がありました。外部審査員に鈴木修一氏(県生涯学習センター所長)、山田仁美氏(県教育庁生涯学習課副主幹)をお迎えし、県高P連調査広報委員と審査を行いました。審査結果は次の通りです。令和3年度の県高P連定時総会で表彰されるとともに、最優秀賞・優秀賞の3紙は令和3年2月行われる東北地区高P連広報紙コンクールに推薦されました。

- ◇最優秀賞 ・秋田令和高校(東北地区高P連広報紙コンクールへ推薦)
- ◇優秀賞 ・秋田高校(東北地区高P連広報紙コンクールへ推薦)
- ・秋田美大附属高等学院(東北地区高P連広報紙コンクールへ推薦)
- ◇優良賞 ・秋田明德館高校 ・本荘高校 ・矢島高校 ・西仙北高校 ・大曲農業高校
- ・横手城南高校 ・横手清陵学院高校(外部審査員賞) ・天王みどり学園
- ・ゆり支援学校(外部審査員賞)
- ◇奨励賞 ・十和田高校 ・能代工業高校 ・男鹿海洋高校 ・新屋高校 ・由利工業高校
- ・西目高校 ・仁賀保高校 ・横手高校 ・湯沢高校 ・能代支援学校 ・横手支援学校



令和2年度「優良PTA文部科学大臣表彰」 令和2年度「全国高等学校PTA連合会会長表彰」

「優良PTA文部科学大臣表彰」「全国高P連会長表彰(団体表彰)」は、PTAの組織、運営及び活動について、優秀な実績を上げている団体を表彰し、PTAの健全育成及び発展に資することを目的に行われております。この度、秋田県から次の3団体が表彰されました。

「優良PTA文部科学大臣表彰」受賞校 大曲農業高校 「全国高P連会長表彰(団体表彰)」受賞校 西目高校 横手高校



農業高校ならではのPTA活動

大曲農業高校 PTA会長 佐々木 龍悦



本校の保護者には、本校卒業生が多く、PTA活動にも協力的な方が多いことが特徴である。そうした土台の上に、大農祭(学校祭)における「PTA企画 ドン菓子づくり」や「早苗振」への参加、あいさつ運動や地域のクリーンアップなどが積極的に行われ参加者も多い。特に、「ドン菓子づくり」は、保護者の方が主体的に企画運営するもので、生徒が栽培したお米からドン菓子を作り来校者の方々に振る舞う農業高校ならではの企画であり、大きな盛り上がりを見せている。

また、本校の「PTA研修会」は、「豆腐づくり体験」や「リンゴのもぎ取り体験」など、日頃生徒たちが学んでいる農業実習を疑似体験できる取組としている。保護者の方に学校の教育活動を理解してもらう機会となるため、大変人気な事業となっている。

このように、学校の様子を知る機会を多く設定していることで、保護者と教師側の相互理解につながり、強い協力体制でPTA活動が行われている。



安田教育長から表彰伝達(中:中田教頭 右:佐々木会長) (令和2年11月23日 教育長室)



前列:受賞された小中高各PTAの皆さん



本校のPTA活動 西目高校 PTA会長 尾留川 あや子



この度全国高P連会長表彰をいただき大変うれしく思っています。これまでの歴代PTA会長、副会長、役員の方々の継続的な活動のおかげに感謝致します。

本校PTA活動の特徴として二点あります。

一点目は、6月に生徒が利用する駅にプランターを設置する活動を行っています。総合学科である本校には、農業科学系列があり、草花の栽培を行っています。そこで勉強している農業の生徒とPTAが共同し、プランターを作成し6駅に設置しています。9月頃まで設置してから回収しています。

二点目は、10月に行う学校祭である「新志芽祭」で、餅つきをして振る舞うという活動です。9月上旬に打合せをおこない、保健所の検査や衛生指導を受けて、臼や杵を準備して当日を迎えます。今年度は中止となってしまいましたが、来年度は実施できることを願っています。



左から館岡県高P会長・尾留川会長・佐々木校長



横高生にとって御嶽山とは 横手高校 PTA会長 阿部 榮司



「鳥海御嶽の秀づる雄姿」から始まる横手高校校歌。御嶽山に登らずして卒業はないと言われている登山が、一昨年四年振りに復活した。

中止していた理由は熊の出没に尽きる。四年間不通だった道は荒れ果て、草木が生い茂っていたが、学校とPTA

が連動し、山岳部・山岳部OB、地域、学校関係者の協力を仰ぎ、様々な対策を行った結果、無事登山を開催する事ができた。

修学旅行の二年生を除く一・三年生が左右のルートからスタートし、三年生は山頂の神社で合格祈願を行い、グループ毎に昼食となるのだが、我々がチェックポイントで見守る中、思い思いのスタイルで歩む子供達。普段見せない満面の笑みで通過する者、音楽や熊避けの鈴を鳴らしながら歩む者、グループ内で声を掛け合い励ます光景に胸が熱くなった。

子供達の記憶に残る一日だった事だろう。今年度は残念ながら大雨で登山道が崩れてしまい中止となったが、いつの日か再び復活する事を願ってやまない。



左から木村校長・阿部PTA会長・館岡県高P会長

秋田商業高校 PTA会長 佐藤 正明

学び舎を巣立つ卒業生の皆さんは新型コロナウイルスの影響により様々な制約があるなかで高校生活最後の一年間を過ごす事になってしまいました。

秋田商業高等学校は創立百周年の記念すべき年でしたが、残念ながら計画されていた事業は中止や延期となってしまいました。これまでの百年も平坦な道のりではなく、幾多の困難にも立ち向かって歴史を刻んできたことだと思えます。

秋田令和高校 PTA会長 畠山 円

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この1年は、コロナ禍の中で通常通りにはいかず、悔しい思い、辛い思いが多々あったかと思えます。この状況乗り越え、卒業を迎えた事は、今後の皆さんの人生においてプラスになります。

聖霊女子短期大学付属高校 PTA会長 舘岡 正人

急激に移り変わる世情に、この一年皆さんが心待ちにしていた、一生に一度の貴重な機会を多くを奪ってしまったことに、大人の一人として申し訳なく思っています。

本荘高校 PTA会長 高原 一心

テレワーク、リモート、社会的距離、手指消毒、マスク着用・・・これらの生活様式は今後定着していきます。

「人間万事塞翁が馬」なる故事は「禍福は予測しがたいが、それに振りまわされてはならない」と伝えられています。

由利高校 PTA会長 長谷部 勝

3年生の皆さん！高校生活もあと僅か、どんな気持ちで過ごしていますか？ここを巣立つ叙し、そして新しいステージへの期待と不安が入り混じっていると思えます。

矢島高校 PTA会長 小野 文彦

今年、卒業される3年生の皆様にとって例年とは違った1年になってしまい進学や就職の準備が充分に出来なかったと思えます。

仁賀保高校 PTA会長 佐々木 謙

「出口のないトンネルはない」暗いトンネルに迷いこんでしまった場合、自分の力で前に進まなければ、いつまで経っても出口にはたどり着かない。

卒業は節目であるがゴールではない。これから進む道は決して平坦な道のりではないです。

御所野学院高校 PTA会長 西村 淳

高校生の皆さん、今年は新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限され、今までとは違う学校生活を過ごされてきたことと思えます。

国学館高校 PTA会長 金澤 麻紀子

ご卒業おめでとうございます。高校生活で楽しい思い出はたくさんできましたか？楽しいことだけでなく、辛く苦しいこと、残念なこともあったと思えます。

信じあえる仲間や、笑いあった日々、たくさんの思い出を胸に刻みながら「自分の道を信じ自分の夢に突き進む強さ」と「周りに目を向け仲間と手を取り合う優しさ」を大切に、未来へ羽ばたいてください。

秋田公立美術大学附属高等学院 PTA会長 佐々木 展

「あなたたちの可能性は無限」です。高校を卒業し、大人に近づいている皆さんでも同じです。

本荘高校定時制課程 PTA会長 鈴木 一男

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは一生心に残る一年だったと思えます。

由利工業高校 PTA会長 加藤 敏彦

誰もが経験した事の無い、コロナ禍の状況下人生の中で貴重な限りある高校生活の思いを悩み苦しみ、悲しみを乗り越え、今学び舎を巣立つ皆さんに、三つの事を心に留め置いて頂きたい。

西目高校 PTA会長 尾留川 あや子

「克己」：己の感情・私欲を抑え、強い気持ちで物事に向き合うこと。

私の座右の銘の一つである。卒業を迎える3年生の、これまで努力してきたことや、待望してきたことに自制を強いられも乗り越えてきた精神力を考えると、前記した「克己」は、自然と身につけていることだろう。

西仙北高校 PTA会長 田村 政広

世界的に大きな変化があった今年度、学校生活においても授業、部活動、学校行事など今までにない変化を経験した年になりました。

「笑う門には福来たる！」

大曲農業高校 PTA会長 佐々木 龍悦

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからの人生、傷ついたり投げ出したり倒れそうになる時もあるでしょう。

大曲高校 PTA会長 高橋 徳久

このコロナ禍の影響により、社会の仕組みや当たり前のことが当たり前でなくなった今だからこそ、ピンチをチャンスと捉えて様々なことに挑戦し、確実に一歩ずつ前に進んでほしいと思えます。

秋田修英高校 PTA会長 備後 文人

間もなく高校を卒業される、3年生の皆様、長い人生で一度しかない高校生活いかがだったでしょうか？振り返れば、元号が「令和」に変わり、更に新型コロナ感染症の影響で、各種大会や学校行事などが中止となり、生活自体が大きく変わり、「変化」と言う言葉が印象に残る時代と感じます。

六郷高校 PTA会長 伊藤 正章

いつもの教室で過ぎた思い出を大切にしてください。出会った友や先生との思い出も大切にしてください。

横手高校定時制課程 PTA会長 佐藤 芳樹

本来であれば、高校3年間の締め括りとして部活動や学校行事が特別となるはずであった今年度、コロナ禍の影響からすべてが例年とは違った活動を余儀なくされ、生徒の皆さんはどの様な心境で卒業を迎えられるのか？心配ばかりが先行しておりました。

横手清陵学院高校 PTA会長 木村 忍

3年生の皆さんにとって、特別な一年となる今年、コロナウイルス蔓延により過去に例がない生活様式、また様々な自粛により我慢の年だったと思えます。

雄物川高校 PTA会長 大嶋 貴広

3年生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。勉強と部活動、大切な仲間と共に学び、友情を育んだ3年間はいかがだったでしょうか。

4月からは新天地での進学や就職。多くの夢と希望がある一方、自分一人では登れない沢山の壁が待ち受けているかもしれない。

大曲農業高校太田分校 PTA会長 梁田 豪

今年度は未曾有の状況下での高校生活となり、困難や不自由を強いられ辛い思いをしたこともあったでしょう。

大曲工業高校 PTA会長 田村 雅史

ご卒業おめでとうございます。2020年は誰も経験したことがない学校生活を余儀なくされる1年となり、卒業生の皆さんも多くの我慢や悔しい思いをしたことでしょう。

角館高校 PTA会長 戸嶋 雅美

間もなく高校卒業を迎え、新たな進路へと向かう3年生の皆さんは、この一年間が生まれてから最大の困難な時だったと感じられているかもしれません。

横手高校 PTA会長 阿部 榮司

多感な時期だからこそ、君達は何度も怒り、何度も泣き、そして何度も笑った事だろう。その熱い情熱を、今度は新たなステージで燃やしてほしい。

横手城南高校 PTA会長 坂上 喜也

卒業を迎える皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校生活最後の年がコロナ禍になるとは、昨年までは想像もできませんでした。

平成高校 PTA会長 佐々木 康之

これから先自分で決めた道を歩み始める皆さんですが、人生生きていけばいろんなことがあります。

増田高校 PTA会長 鈴木 真理子

この春晴れて学び舎を巣立つ皆さんへ。これから皆さんの目の前には、新しい人生が大きく開けていくと思えます。